Gion junior highschool　校訓:理性･創造･尚志･自彊

GION BRAND

R4年　7月22日
№9
文責　郷原　正浩



１学期が終了しました。明日から少し短くなった夏休みに入ります！

新しい３学期制に伴い３７日間と少し短い夏休みに入ります。生徒自らが一日の生活設計を立て過ごす期間でもありますので有意義な時間にしてほしいものです。一方、全国的には新型コロナ変異株による罹患者の増加や熱中症、大雨が集中する線状降水帯など、一筋縄では楽しめない夏かもしれませんので用心したいものです。



さて、本日の終業式（リモート）では次のような話をしました。

『一つ目、健康的な生活を送ること。全国的に猛威を振るう新型コロナや熱中症など心配されることは多々ありますが、その予防手段はすでに学んでいますので、自分の身は自分でしっかりと守ること。８月２９日の２学期始業式には少したくましくなった皆さんと笑顔で再会できることを楽しみにしています。

二つ目、夏休みの学習にどう向き合うのか。夏休みの学習といえば、夏休みの課題です。事前に立てた計画には必ず勉強をする時間を設けていると思います。そうすると、毎日勉強しなければならないとか、期限までに提出しないといけないとかどんどん自分を追い込んで、夏休み終了間際には学校恐怖症になってしまうことがあります。勉強ってそんなに怖いものなのでしょうか。自由研究や作品作りなどは、自分の裁量で時間を費やすことができるから自分で期限を決めればいい。学力向上のため学習は、毎日することに越したことはないですが、毎日することにプレッシャーや嫌気がするのであれば、２日や３日をローテーションとした学習計画を立てればいい。一番いけないのは、勉強を作業にしてしまうことです。例えば、英文をノートに書く場合、一部の単語のみ一気にノートに羅列し、次の単語をその横に羅列し英文を作り上げるなど、書くための作業にしてしまうことです。万が一、頭に入ったとしてもすぐに消えてしまいます。それは勉強とは言えません。勉強は少なくとも自分の頭の中であーだこーだと問答しながら理解していくものです。運動は毎日同じことをすることで体に覚えさせることが必要ですが、脳は思考がないとすぐ忘れてしまう。だからある程度の期間をおいたらコンスタントに振り返ることが大事です。一夜漬けが実力テストには生かされないことはそこにあると思います。

三つ目、読書をすること。映画を観ること。何が良い作品かは、読んだ人や観た人によって異なると思いますが、そこから感動を得ることは心を育むことに繋がります。若いうちに色々な作品に触れ、心をもっともっと育み、視野が広く心の深い大人になってほしいと願います。』

理想論と思われるかもしれませんが、学習への向き合う姿勢は、３年生の高校入試に向き合う姿勢にも繋がります。避けては通れない道ですので、嫌々勉強するのではなく自分自身を成長させるためにするものと捉えてほしいと強く思います。

二者面談・三者面談を実施します！



来週の２７日(水)から、二者面談（１・２年生、保護者と担任)、三者面談（３年生、生徒・保護者と担任）が始まります。面談の日程は、担任の先生からお知らせがきていることと思います。通知表の所見の代わりに１学期の生活の様子等がお話しされます。また、３年生には公立高校入試やオープンスクールなどの情報も伝えられますので、短い面談時間ではありますが有効に活用していただくとありがたいです。

佐世保市少年の主張大会が開催されました。

７月９日（土）にコミュニティセンターで標記大会が開催されました。本校からは３年生の新野陽梨さんが出場し、入賞しましたのでお知らせします。おめでとうございました。

３年１組　新野　陽梨さん
演題「友達・家族がいることで」
佐世保市教育委員会賞